



令和4年度 阿賀野市立安田中学校 グランドデザイン

阿賀野市の教育の理念

ふるさとを愛し、未来を切り拓いていく人を育てる教育

「自立」: 主体的に判断し、粘り強く問題解決に取り組む力

「協働」: 多様な人々と対話し、問題を解決する力

「創造」: 新しい価値を生み出す力

安田中学校 教育目標

すすんで学習に取り組む生徒

思いやりのある心豊かな生徒

けじめをつけて生活できる生徒

地域の特徴

「だしの風」で有名な地域である。新潟県酪農発祥の地であり、古くから瓦製造や庵地焼が有名である。旧安田町全体が学区であり、町ぐるみで学校運営を支援している。

生徒の実態

- ・明るく人懐こい生徒が多い。
- ・学力向上に向けて努力する生徒がいる。
- ・リーダーを中心に生徒会活動が展開されている。
- ・集団生活で支援が必要な生徒がいる。

学ぶ安中 こころの安中 鍛える安中

郷土(安田)に誇りをもち たくましく優しい心で 主体的に行動ができる生徒

地域・保護者・教師のめざす姿

『心の教育』はすべての教育活動に優先する

【大切にしたい5つの心】

正義の心 思いやりの心 あきらめない心 感謝の心 素直な心

【目指す学校像】

すべての生徒が笑顔で輝き 誇りをもてる学校

【目指す教師像】

生徒、保護者の心に寄り添い、常に学び進化できる教師

「学ぶ」安中【学力の向上】

成果目標

- ① 5回の Web 診断問題で、県平均以上の学年30%以上
- ② 「学習に対してあきらめずに取り組んでいる」と答える生徒90%以上

目標達成に向けて

- 授業改善
 - ・「めあて」「まとめ」のマグネットを用いて、分かりやすい授業を目指す。
 - ・ICTを活用し、生徒が考えを表出する場面を増やす。
 - ・教師自らが「チャイムと同時に授業開始」を励行する。
 - ・各教科で「2分前学習」を行い、生徒による学習姿勢向上を支援する。
- 家庭学習の習慣化
 - ・プランニングタイムを設定し、その日学習する内容を自分で立てさせる。
 - ・学年部で「自主学習ノート」や「課題学習」への励ましや助言を与える。
 - ・3学年は、進路実現に向けて学習計画を話し、家庭学習を支援する。

「こころ」の安中【こころの教育】

成果目標

- ① いじめ・不登校生徒の割合を前年度同時期に比べ低下させる
- ② 「他者のためになる活動(清掃、給食当番、祭活動、生徒会活動、ボランティア活動など)に進んで取り組んだ」と答える生徒90%以上

目標達成に向けて

- ① について
 - ・些細な生徒の言動を見逃さずに、チームで生徒への声掛けや家庭連携を図る。
 - ・子どもとともに1・2・3運動に確実に取り組む。
 - ・生活アンケート実施する。
- ② について
 - ・一人一役与え、振り返りの場を設定する。
 - ・道徳や学活などで、他者貢献の大切さを共通理解する。
 - ・SSE やSGE など、他者と関わる場を設定する。
 - ・生徒が主体的に取り組むことができる活動を進める。

「鍛える」安中【健康・体力づくり】

成果目標

- ① 「1日のメディア(スマホ、ゲーム等)時間が2時間未満」の生徒45%以上
- ② 「運動・スポーツが好き」と答える生徒80%以上

目標達成に向けて

- ① について
 - ・学年集会などでメディア時間が生活や健康に及ぼす影響について、適宜指導する。
 - ・スマホ等の危険性について便りを発行するなど、生徒にスマホ等の使用時間を意識させる。
- ② について
 - ・保健体育の授業を通し、運動・スポーツが心身の健康に果たす役割を指導し、その重要性を理解させる。
 - ・部活動ごとに目標を設定し、目標達成に向け仲間と話し合い、振り返りを行いながら、有意義な活動を展開する。

支援

- OPTA
- 地域探究
- 同窓会・後援会
- サポート活動
- 部活動保護者会

地域と学校の連携を推進する会

- 地域と学校が目標やビジョンを共有するコーディネートを行う
- 学校運営や必要な支援に関する協議をする
- 地域全体で子どもたちの学びや成長の支援をする

連携

- 同窓会、後援会との連携
- 青少年健全育成会との連携
- 校区内小学校との連携
- 児童相談所、学警連、サポートセンター等との連携

研修の充実

- 指導要領の趣旨を生かした授業改善
- 防災教育、平和教育及び人権教育、同和教育の研修
- 豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実を目指す研修
- 人間関係づくり等の社会性育成に対応する研修

保護者・家庭へ

- 学校だより、ホームページ、メール等による情報の提供
- 保護者への報告・連絡・相談・確認の徹底
- 保護者アンケートの実施と学校評価の公表